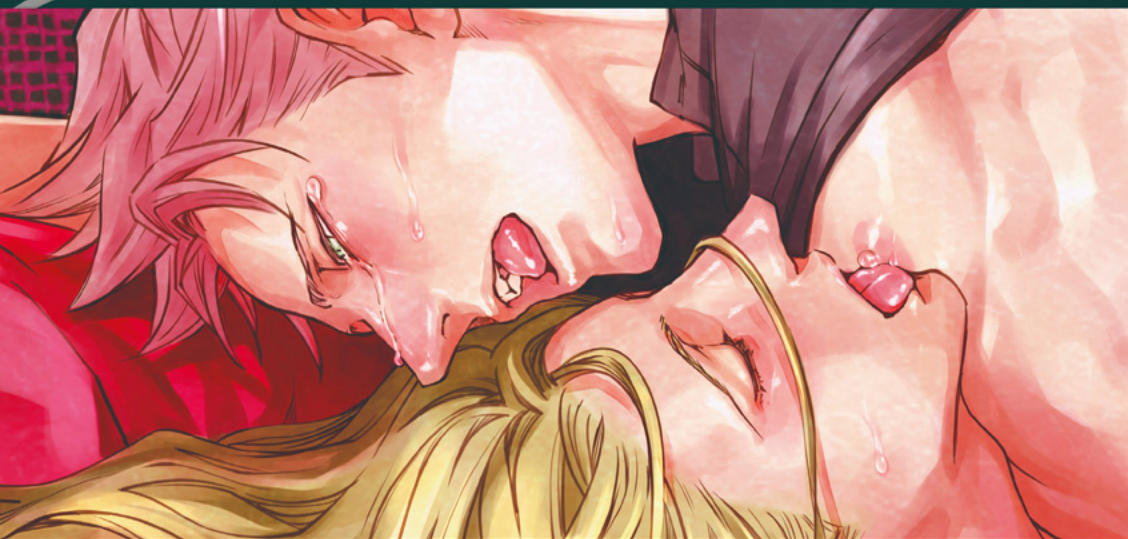


XBL 成年コミック

オール読み切りアンソロジー
「デジタル版・18禁」



随七
BL

ためこう	ララの結婚	1
座裏屋蘭丸	眠り男と恋男	29
緒川千世	カーストヘヴン	59
春泥	どうして先生になったの	85
山本アタル	ハートのchoker	119
だん	雌イキ♥健康診断!!	145
松田うさち子	ファッションエフ	167
松基 羊	Sense of loyalty	201
丸木文華 (挿絵/葛西リカコ)	女装したらイケメン友人たちに おいしくいただきました。	233
へぶん	コントロール	265
日野 晶	帝國の宦官 -右弦皇子殿下の嫁取り-	297

SAMPLE

※続きと修正部分は製品版でお楽しみください。



あ…

何で

何ん??



いいぞ
ほら

自分の
好きなように
動いてみる

ぐっ
いっ



何で
出したのに

気持ちいい
ずっと…



焦らなくても
オレはどこにも
逃げないぞ

可愛いやつ



腰
止まんな…

はあ

ぐっ
ちゅ

ズ
ぐっ
ちゅ

はあ

あつ



そんなに
オレの子種が
欲しいか



そんな…

そんなの
できるわけ
な…っ

ヒューン



はあ

子…

だね…?

夫婦に
なったんだから
子作りするのが
当然だろう

それこそが
本来の目的
なんだぞ



はあ

はあ

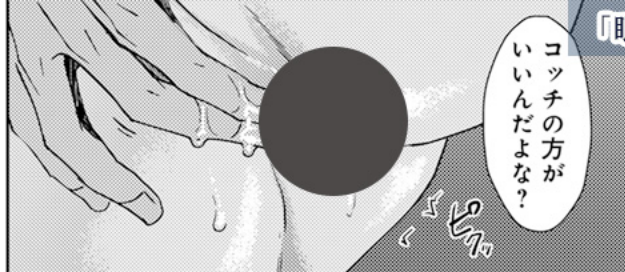
ちゃんと言葉
頭に入ってるか?

あっ



あ…あ…っ

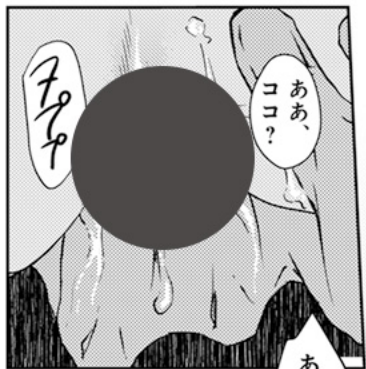
ヒューン



コッチの方がいいんだよな？



お前は…



フフフ

ああ、ココ？

ああソコ…っ
ロイス



あつは…っ



あつ

んっ



ははっなんだよ
運んでやろっか？

も、ここで早くっ

ん？じゃあ
ベッド行く？



な…っ
も挿れて



ロイスっ俺もう
ずっとしたくって

…我慢しててっ

カッ

もう早くコレ
オレの中に挿れて…

…今日ぐらい
丁寧じゃろうと
思ってたんだけど

あっ



これは
無理だわ
ははっ

あっロイ…っ

はあ…っあっ



ロイスの
奥、きてる
…から…っ!!

あっ

あっ
で…でも

まだ我慢な?
いくなよー
ゆっくりやるから

ちよっし
ちよっし
ちよっし!!

ギョウウ



あうっ

はっ

ゴ
ウウ

あっんん—っ



いつ?
今日の夕方?
2回くらい
しちゃった?

……—っ
カ!

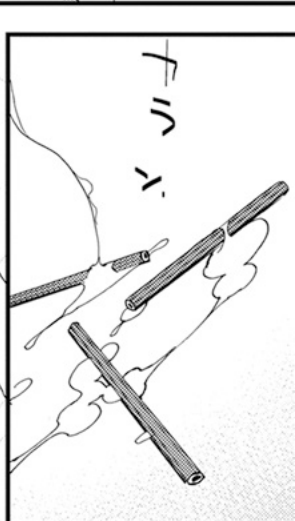
ははっ
量が少なくなね?
…一人で
しちゃったの?

ゴ
ゴ

天

天

頭の中
空っぽに
してあげる



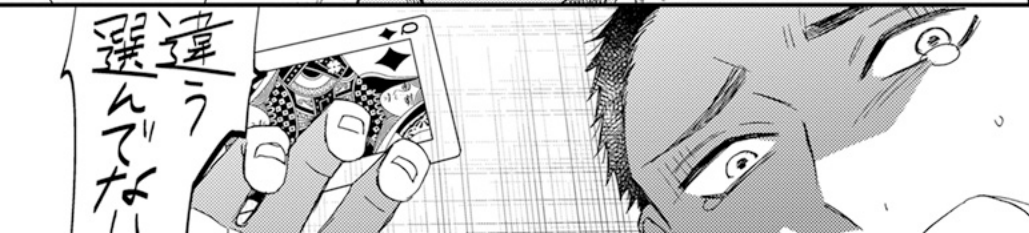
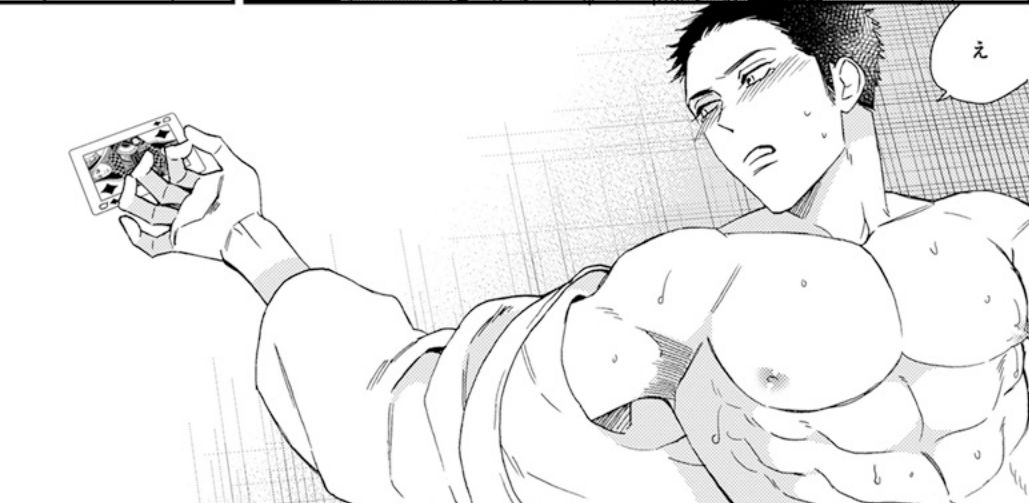
もうゆるし

たのむ

たっ

はあ
はあ

千世



天

天





突いて

ばーん

ちよつと
ままとて

あつ

もつと
ゆつくり

いっばい
激しく
されると

俺すぐ
バカに
なつちやう
からあ

からあ

くっ

馬鹿になると
どうなつちやうの

あ、あのね
エツチな事しか
考えられなくなる
から

いけない事
いっばい
お願いしたく
なつちやう

はあ

は
は



前触るの
我慢するから

俺が後ろだけで
イクところ見てて

はあ

はあ

キッ

お尻
かき回しながら

戸鞠さん
手伝って
くれるでしょ

アコギ

乳首ぎゅって
して♡



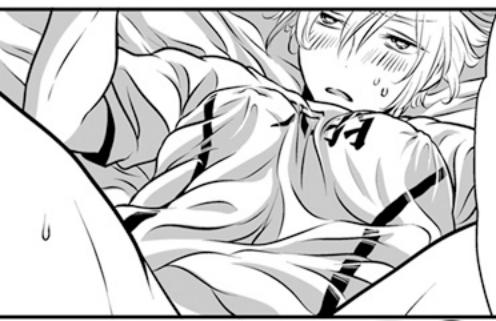
……………
そうかな？

そんなことないと思う…
だって俺ぜんりつ…せん…で
何回もイッたことあるし…

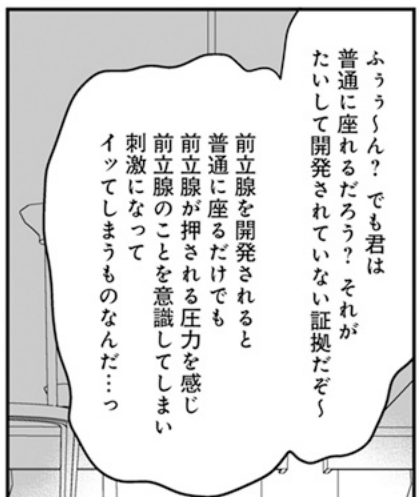


わからない？
やはり君は
お道具を使うえっちは
していないんだね…？

思った通りだ…君は
ガキどもを相手にしているから
まだ前立腺の開発が甘いね？



っていうかそこまで開発
されていないのが病気の？
全然病気じゃなくない？



ふううくん？でも君は
普通に座れるだろう？それが
たいして開発されていない証拠だぞ

前立腺を開発されると
普通に座るだけでも
前立腺が押される圧力を感じ
前立腺のことを意識してしまい
イッてしまうものなんだ…っ



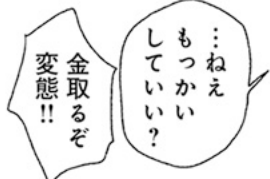
いやでもそんなに
開発されたら逆に
やばくね…!!

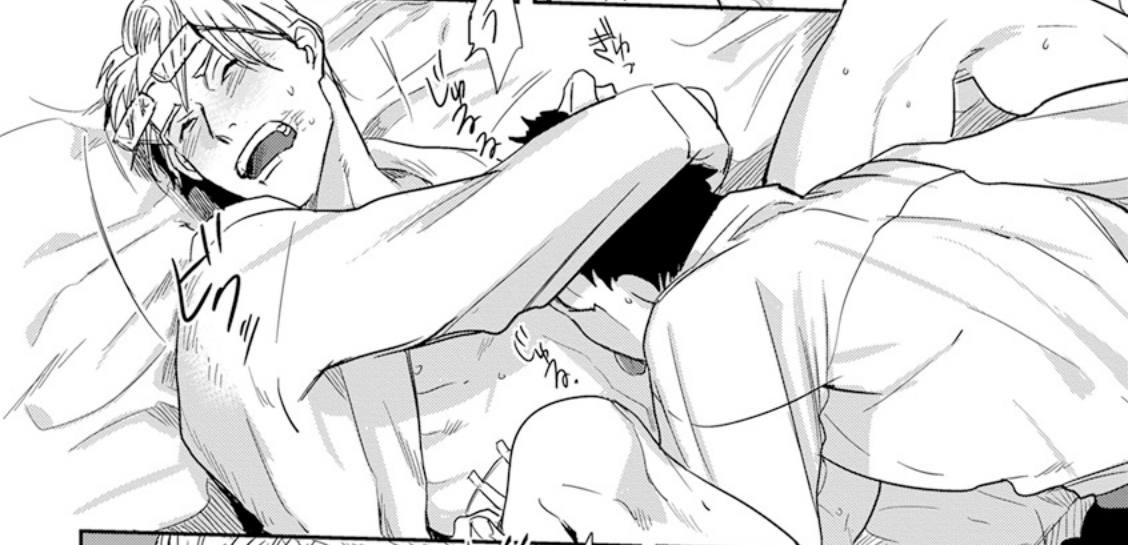
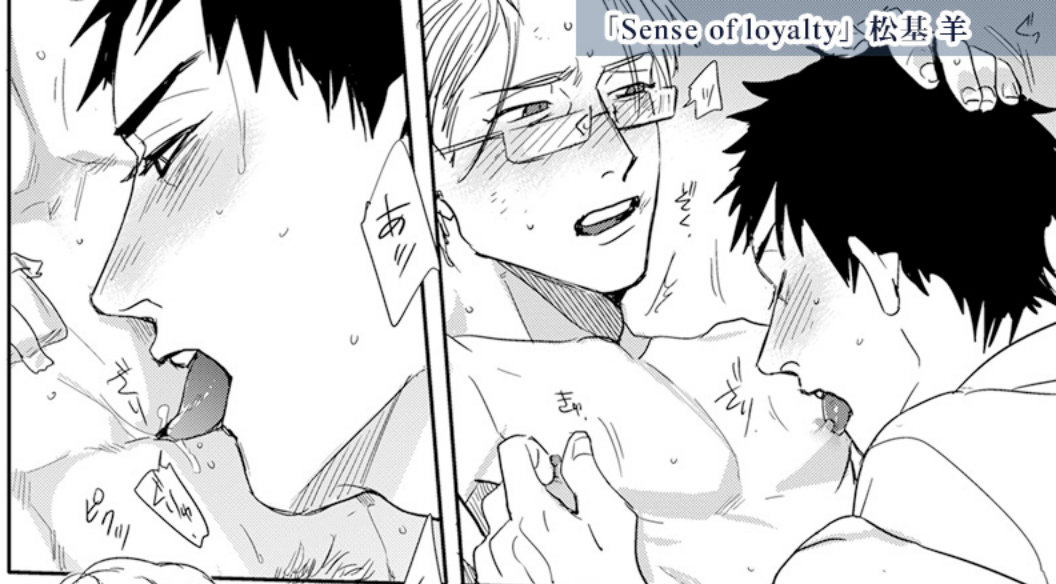


瑛準くんの前立腺が
開発されていないのは
病気なんだよ!!

ちよっいきなり！
うわあっ









「俺……葵の中……入ってる」

ため息を落とすように嘸き、頬は興奮に赤らみ、目は涙で潤んでいる。

「たまんね……最高」

「か、海斗……、あ、あ」

我慢できなくなつたように海斗が動き始める。ずんつと強く奥を突き上げられたその瞬間、葵の全身を稲妻が貫くような衝撃が走り、葵は叫んだ。

「うあつ……！ あ、ア、あ」

腰を強く抱え込まれて、最奥さいおちうを立て続けに重く突き上げられる。奥の柔らかな場所に海斗の大きな丸い亀頭がぐっぽりとはまり込む感覚に、全身の毛穴が開いてどつとおびただしい汗が噴き出す。

「あうつ、あい、あつ、ふあ」

目の前に火花が散る。

じゅつぽじゅつぽと大きく鳴る水音。どちゅどちゅと腹の奥を突かれる度に、四肢の先まで火を噴くような激しい快感が突き抜ける。

「あ、ヒ、やつ、やば、い、なんだこれ、あつ、あつ、あつ、やばい、やば、あ、あ、ア」

「いい？ いいのか、葵……お前の奥、すげえよ。チンコの先、すげえ吸い付いてくる。超気持ちいい」

「や、だめ、だめ、海斗、奥、だめつ、やばい、やばい、あ、アツ、あああ——っ」

目の裏が真っ白になる。ビシャビシャと、何かが顔に降り注ぐ。

それが自分の精液だと気づくのに、時間がかかった。

葵の意識は、一瞬、吹っ飛んでいた。

「は……、あえ？ 俺……」

「すごいな、葵……俺にケツ犯されてイったのか……すげえ、可愛い……」

海斗は掠れた声を熱く震わせて、葵の顔に飛んだ精液を舐めまわし、そのまま口に吸い付いてくる。太い舌で歯列をこじ開け、絶頂の名残に震える葵の舌を捕らえて絡ませ、唾液も何もかも吸い尽くすように無茶苦茶じゅっりんに蹂躪する。

「可愛い、葵、可愛い……」

「ん、う……か、いと……」

「もつとイって……俺ので、もつとイってくれよ」

海斗は逞しい腰を蠢かせ、再び激しい快樂地獄に葵を突き落とす。口の中を舌で犯されながら、葵はビクビクと震えて全身でその絶頂感を味わっている。

「んうっ！ ふうっ、ふうっ、ンく、んっ、う、ふあ、ひああ、ア」

天

天

宦官かんのん

『去勢』された
宮廷奴隷が
恋文もらったから
何があるってんだ

いっ……

——と思うけど
この皇子様は
疑り深いのだ



反省……

私の心を
こんな
波立たせて
おいて……

あっ

い……

痛……

してないよね
……？



こんなに
大きいおっぱいで
女と密会出来ると
思う？

み…
密会なんて
しねーし…

おっぱいでも
ねーし…っ

ヒッ…

くた…

ドゥ

じゃ
何？

女の子
みたいな
乳首して…

ば

ばか…

っ右弦がっ

引っ張るから
だろ…
こ…こんな…

どうして
ほしい…？

カリッ
カリッ
カリッ…

んん？

あっあっ
それっ

右弦うげんの音が
甘く
なってる

……
……
……

こじつのは
好きだ

き…